

(3) 農業・稲作情報 平成27年3月12日(木曜日)

「龍の瞳」数々の賞に

大粒・極良食味、台湾でPRも

岐阜県下呂市の今井隆氏が自家圃場の稲の中から偶然発見し、育成してきた品種「龍の瞳」(品種名「いのちの志」)は、平成12年の発見から今年で約15年を迎える。存在感のある大粒と極良食味が最大の特徴のこのコメは、今年に入ってからさまざまな賞を獲得している。

岐阜県下呂市の今井隆氏(左)が自家圃場の稲の中から偶然発見し、育成してきた品種「龍の瞳」(品種名「いのちの志」)は、平成12年の発見から今年で約15年を迎える。存在感のある大粒と極良食味が最大の特徴のこのコメは、今年に入ってからさまざまな賞を獲得している。

岐阜県下呂市の今井隆氏(左)が自家圃場の稲の中から偶然発見し、育成してきた品種「龍の瞳」(品種名「いのちの志」)は、平成12年の発見から今年で約15年を迎える。存在感のある大粒と極良食味が最大の特徴のこのコメは、今年に入ってからさまざまな賞を獲得している。

選」のひとつに選ばれた。全国推奨観光土産品では「全国観光土産品連盟会長努力賞」を受賞したほか、料理界を代表するトップシェフと一流百貨店バイヤーなどが選出した「2015年料理王国1000選」では、生鮮食品の部で唯一のコメの選出となっている。

また龍の瞳は、ヤブ1ジャパンが主催する「厳選 米100選」にも選出された。この100選は、料理研究家やごはんソムリエ、有名米穀店のお米マイスター店主など16人の「お米のプロ」が選定する。

2月6日に都内で表彰式が開催された「第55回全国推奨観光土産品審査会」(全国観光土産品審査会)で、龍の瞳は最高評価の三つ星を獲得。なお、同じいのちの志の新ブランド「特別栽培



平成12年に発見した大粒米

龍の瞳発見者で、同ブランド米の買い取り販売を行っている株式会社龍の瞳(岐阜県下呂市)の社長も務める今井氏によれば、今後はあるという。

龍の瞳発見者で、同ブランド米の買い取り販売を行っている株式会社龍の瞳(岐阜県下呂市)の社長も務める今井氏によれば、今後はあるという。



地元の土産品売場では定番商品に(岐阜県下呂市)

農業・稲作経営・コメ産地関連情報